

腺などの疾患別のがん診療や高度進行がん、再発がん、膵臓がんなどの難治がんの診療を担う医療連携体制の構築を進めます。

- 都道府県がん診療連携拠点病院は、がんの専門医等のがん診療に関わる医療人の育成とともに、他医療機関とのテレカンファレンス等による診療支援、県内医療機関への専門医等の派遣など地域医療支援に取り組みます。
- がん患者への医療を連携して担う複数の医療機関と患者が診断・治療に関する情報を共有し、治療効果を高める地域連携パスの導入を進めます。
- がん診療連携拠点病院等において、手術療法、化学療法、放射線治療の組み合わせや緩和ケア、症状に応じた食事の提供などに総合的な検討を加え診療するカンサーボードの整備を進めます。

III 地域がん診療連携拠点病院

岩手県は四国4県と匹敵する広大な面積をかかえている県であり、その中において、医療の地域完結を目指した9つの二次保健医療圏を設定しています。

平成19年度までに5つの保健医療圏においてがん診療連携拠点病院の指定を受けたところではありますが、平成20年度においては、新たに3圏域においてがん診療連携拠点病院の指定を受けるべく、

- ・岩手県立胆沢病院（胆江保健医療圏 新規）
- ・岩手県立大船渡病院（気仙保健医療圏 新規）
- ・岩手県立久慈病院（久慈保健医療圏 新規）

の3病院を推薦するものであります。

(1) 岩手県立胆沢病院（胆江保健医療圏）

岩手県立胆沢病院は、（一般331床、結核20床）は胆江保健医療圏（人口約144千人）における地域の中核的な医療機関であり、現病院は平成8年3月に移転新築され、その際にリニアック、MRI、ヘリカルCTなどの高度医療機器も整備し、広域中核病院として完結型の医療を提供する体制が整っております。

特にも当病院は肺癌及び疼痛対策（ペインクリニック）医療に関しては県南地域の中心施設として機能しております。

なお、現時点において当病院の緩和ケア体制について、精神症状の緩和に携わる医師の診療応援が平成20年4月より得られなくなったものの、平成21年1月から定期的な診療応援を得られることとなったこと、及び外来における専門的な緩和ケアの提供について、週1回緩和医療科長が担当する緩和ケア外来を開設することを決定し、平成20年12月からの開設に向けてその準備に取りかかった旨の申出書が提出されていることから、今回当病院を地域がん診療連携拠点病院として推薦するものであります。

(2) 岩手県立大船渡病院（大船渡保健医療圏）

岩手県立大船渡病院（一般 370 床、精神 105 床、結核 10 床、感染症 4 床）は気仙保健医療圏（人口約 72 千人）における地域の中核病院であり、救急救命センターを併設し、3 次救急に対応できる病院であります。

また、がん診療に関しては当圏域で唯一放射線治療機器を有している病院であり、集学的治療を含めたがん診療を行っております。

なお、現時点において当病院の外来での緩和ケアについては相談支援センター等を窓口に対応し、緩和ケア認定看護師が各外来の看護師、相談支援センターの紹介・依頼を受け面接対応を行い、面接後は必要に応じ対応できる診療科を紹介し、緩和ケアを提供している状況であります。平成 21 年 3 月末に準備を完了し平成 21 年 4 月に「緩和ケア外来」を設置し、ケアの提供を開始する旨の確約書を提出していることから、今回当病院を地域がん診療連携拠点病院として推薦するものであります。

(3) 岩手県立久慈病院（久慈保健医療圏）

岩手県立久慈病院（一般 295 床、療養 43 床、感染症 4 床）は久慈保健医療圏（人口約 64 千人）における地域の中核病院であります。当病院は平成 10 年 3 月に移転新築され、その時に併せて救急救命センターが併設され、また、リニアックの新たな設置や当時岩手県内で初めて緩和ケア病床（2 床）が設置されるなど、先進的ながん医療への取組みを進めている病院であります。

また、がん診療に関しては当圏域で唯一集学的治療を行うことができる病院であり、地域に根ざしたがん医療を実践しております。

なお、当病院は現時点において地域がん診療連携拠点病院の要件は全て満たしているものであり、今回当病院を地域がん診療連携拠点病院として推薦するものであります。

岩手県立北上病院の地域がん診療連携拠点病院の考え方について

平成20年2月8日付けで地域がん診療連携拠点病院として指定を受けた岩手県立北上病院において、平成21年4月の開設に向けた新病院の建築を進めており、移転時に併せて隣接市の県立病院と統合することとしております。

岩手県としては、現在有している同病院のがん診療連携拠点病院の機能に加え、緩和ケア病棟の新設等がん医療に係る機能の充実が図られることから、移転後の平成21年4月以降においても継続して地域がん診療連携拠点病院として指定を受けられることを確認するものであります。

1 経緯

岩手県立北上病院については平成20年2月8日に地域がん診療連携拠点病院として指定を受け、岩手中部保健医療圏のがん医療を行う中心的な医療機関として位置づけられているところ。

同病院は平成21年4月の開設に向けて新病院を建築中であり、新病院では緩和ケア病棟の設置やPET装置の新たに設置し、また、移転時に併せて隣接市の県立病院と統合を行うことにより、病床数が増加するほか、医療従事者数も増加するため、更なるがん医療の推進が図られるものであること。

2 推薦時の県の考え方

岩手県立北上病院は地域における中核病院であり、特にも緩和ケアに力を入れており、推薦時点での地域がん診療連携拠点病院の要件は全て満たしていることから、県として当病院の推薦をおこなったものであること。

なお、統合移転によりがん診療連携拠点病院の要件が満たされなくなるものではなく、また、がん診療連携拠点病院の指定期間は4年間であり、平成21年4月の統合移転された後においても継続して指定されることを前提に推薦を行ったものであること。

3 備考

平成19年度において、同病院の推薦を行う前に当時の室長補佐に口頭で本内容について確認を行い、統合移転後においても継続して指定を受けられる旨の確認を行っているものであること。

また、万が一、岩手県立北上病院が継続して地域がん診療連携拠点病院としての指定が受けられなくなった場合、診療報酬上の加算が受けられなくなるほか、がん診療連携拠点病院機能強化事業にかかる補助事業対象外となることから、がん医療の普及及び病院経営に多大な影響を及ぼすことが必至となること。

1 統合の概要

(1) 病床数及び診療科

区分	新病院	現病院
病床数	434床（一般414床、結核20床） ※一般のうち緩和ケア病棟24床	花巻厚生257床（一般243床、結核14床） ※花巻厚生は現在65床を休床中である。 北上260床（一般250床、結核10床） 計（一般493床、結核24床）
診療科 ※	21診療科（新設診療科4科） リハビリテーション科、麻酔科、病理科、心療内科	花巻厚生～14診療科 北上～16診療科

※標榜診療科数については、「広告可能な診療科名の改正」に伴い見直す予定であること。

(2) 施設規模

区分	新病院	現病院
敷地 所在地	北上市村崎野地内	(花巻厚生) 花巻市御田屋町地内、(北上) 北上市九年橋地内
面積	約100,000㎡	(花巻厚生) 17,224㎡ (北上) 20,882㎡
建物 構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
延面積	約32,600㎡	(花巻厚生) 12,047㎡、(北上) 13,590㎡

(3) 設備整備等

- ①PET・リニアック棟の新設（PET装置は新設、リニアックは北上病院を更新整備）
- ②電子カルテシステムの導入（電子カルテを核とした、新医療情報システムの導入）

(4) 開院日

平成21年4月1日（予定） ※名称は未定

2 新病院における診療機能等について

(1) 統合の考え方

- ① 原則として、北上病院の現有機能を受け継ぐとともに、診療機能の強化を図ること。
- ② 新病院における種々の運営マニュアル等については、現北上病院の内容を引き継ぎ、新病院に併せて更新することとしていること。
- ③ 財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」は、現在北上病院のみが認定されており、これを継続することとしていること。
- ④ 各種学会等の認定施設は、北上病院で取得している内容をほとんど継続することとしていること。

(2) 施設認定等の状況について

区分	北上病院	花巻厚生病院	備考
地域がん診療連携拠点病院	有	無	
病院機能評価	有	無	H18.3.20 (Ver.4.0)
学会認定施設等	18学会等	4学会等	

3 地域がん診療連携拠点病院の継続指定に対する病院としての考え方

当院（北上病院）は、平成20年2月8日に地域がん診療連携拠点病院の指定を受けたものであるが、次の理由から、「がん診療連携拠点病院の整備について」（平成20年3月1日付け健発第0301001号厚生労働省健康局長通知）Vの1の(1)によるいわゆる「みなし指定」をお願いするものである。

- (1) これまで、地域がん診療連携拠点病院として、がん相談支援センターの機能充実や地域医療機関との連携を図ってきているところであり、指定を受けられない場合、地域住民や地域医療機関への多大な影響が想定されること。
- (2) 現在、新病院の開院に向けて診療体制確保をはじめとする新基準に対応する体制の整備を進めており、平成21年4月1日からはその体制が整う見込みであること。

	都道府県拠点	地域拠点
新規申請	0	3
既指定病院	1	5
計	1	8

>合計 : 9

「※」は、新入院患者数が1,200人に満たない場合。

【新規申請病院】

申請区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	351 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	※530 人 (8%) / 年
外来がん患者延数	25,452 人 / 年
悪性腫瘍手術総数	108 件 / 2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数]	584 人 / 年 1,827 回 / 2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数] [のべ処方日数]	112 人 / 2か月 209 件 / 2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数] [のべ処方日数]	222 人 / 2か月 428 件 / 2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	1 件 / 2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	640 件 / 2か月 (24 件 / 2か月)
相談支援センター相談件数	120 件 / 2か月
指定要件の充足度	・ 指針に定める必須要件の整備が行われている。

申請区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	489 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	※483 人 (8%) / 年
外来がん患者延数	2,386 人 / 年
悪性腫瘍手術総数	46 件 / 2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数]	52 人 / 年 397 回 / 2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数] [のべ処方日数]	33 人 / 2か月 240 件 / 2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数] [のべ処方日数]	69 人 / 2か月 316 件 / 2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	17 件 / 2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	578 件 / 2か月 (17 件 / 2か月)
相談支援センター相談件数	0 件 / 2か月
指定要件の充足度	・ 指針に定める必須要件の整備が行われている。

申請区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	342 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	※862 人 (17%) / 年
外来がん患者延数	674 人 / 年
悪性腫瘍手術総数	32 件 / 2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数]	45 人 / 年 424 回 / 2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数] [のべ処方日数]	58 人 / 2か月 411 件 / 2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数] [のべ処方日数]	72 人 / 2か月 308 件 / 2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	6 件 / 2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	277 件 / 2か月 (4 件 / 2か月)
相談支援センター相談件数	2 件 / 2か月
指定要件の充足度	・ 指針に定める必須要件の整備が行われている。

【参考:既指定病院】

区分	都道府県がん診療連携拠点病院
病床数	1,051床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	3,978人(26%) /年
外来がん患者延数	50,808人 /年
悪性腫瘍手術総数	207件 /2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	559人 /年
[照射回数]	6,085回 /2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	295人 /2か月
[のべ処方日数]	1,369件 /2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	362人 /2か月
[のべ処方日数]	640件 /2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	19件 /2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	1355件 /2か月 (79件 /2か月)
相談支援センター相談件数	73件 /2か月

区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	685床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	3,471人(21%) /年
外来がん患者延数	24,697人 /年
悪性腫瘍手術総数	164件 /2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	489人 /年
[照射回数]	1,728回 /2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	122人 /2か月
[のべ処方日数]	348件 /2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	256人 /2か月
[のべ処方日数]	713件 /2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	35件 /2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	960件 /2か月 (77件 /2か月)
相談支援センター相談件数	446件 /2か月

区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	260床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	※1,043人(20%) /年
外来がん患者延数	16,660人 /年
悪性腫瘍手術総数	60件 /2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	127人 /年
[照射回数]	1,742回 /2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	29人 /2か月
[のべ処方日数]	77件 /2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	75人 /2か月
[のべ処方日数]	216件 /2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	21件 /2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	439件 /2か月 (8件 /2か月)
相談支援センター相談件数	19件 /2か月

県立磐井病院	
区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	315床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	1,956人(27%) /年
外来がん患者延数	16,631人 /年
悪性腫瘍手術総数	75件 /2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	303人 /年
[照射回数]	1,753回 /2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	60人 /2か月
[のべ処方日数]	735件 /2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	87人 /2か月
[のべ処方日数]	1,977件 /2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	4件 /2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	886件 /2か月 (5件 /2か月)
相談支援センター相談件数	165件 /2か月

県立宮古病院	
区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	387床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	※1,088人(17%) /年
外来がん患者延数	1,727人 /年
悪性腫瘍手術総数	72件 /2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	66人 /年
[照射回数]	825回 /2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	100人 /2か月
[のべ処方日数]	215件 /2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	71人 /2か月
[のべ処方日数]	207件 /2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	4件 /2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	458件 /2か月 (7件 /2か月)
相談支援センター相談件数	42件 /2か月

県立二戸病院	
区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	300床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	※597人(13%) /年
外来がん患者延数	10,937人 /年
悪性腫瘍手術総数	30件 /2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	117人 /年
[照射回数]	378回 /2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	29人 /2か月
[のべ処方日数]	123件 /2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	41人 /2か月
[のべ処方日数]	190件 /2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	6件 /2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	396件 /2か月 (12件 /2か月)
相談支援センター相談件数	40件 /2か月

5 秋田県

医 一 1557
平成20年10月31日

厚生労働大臣 舛添要一様

秋田県知事 寺田典城



がん診療連携拠点病院の新規指定に係る推薦について

標記について、「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」（平成20年3月1日健発第0301001号厚生労働省健康局長通知の別添）に基づき、推薦意見書及び2次医療圏の概要並びに推薦書を添付の上、下記の医療機関を推薦します。

記

地域がん診療連携拠点病院

大館市立総合病院	(新規推薦)
市立秋田総合病院	(新規推薦)
秋田県厚生農業協同組合連合会秋田組合総合病院	(新規推薦)
医療法人明和会中通総合病院	(新規推薦)

【担当】

〒010-8570

秋田県秋田市山王4-1-1

秋田県健康福祉部医務薬事課

調整・医療班 佐々木

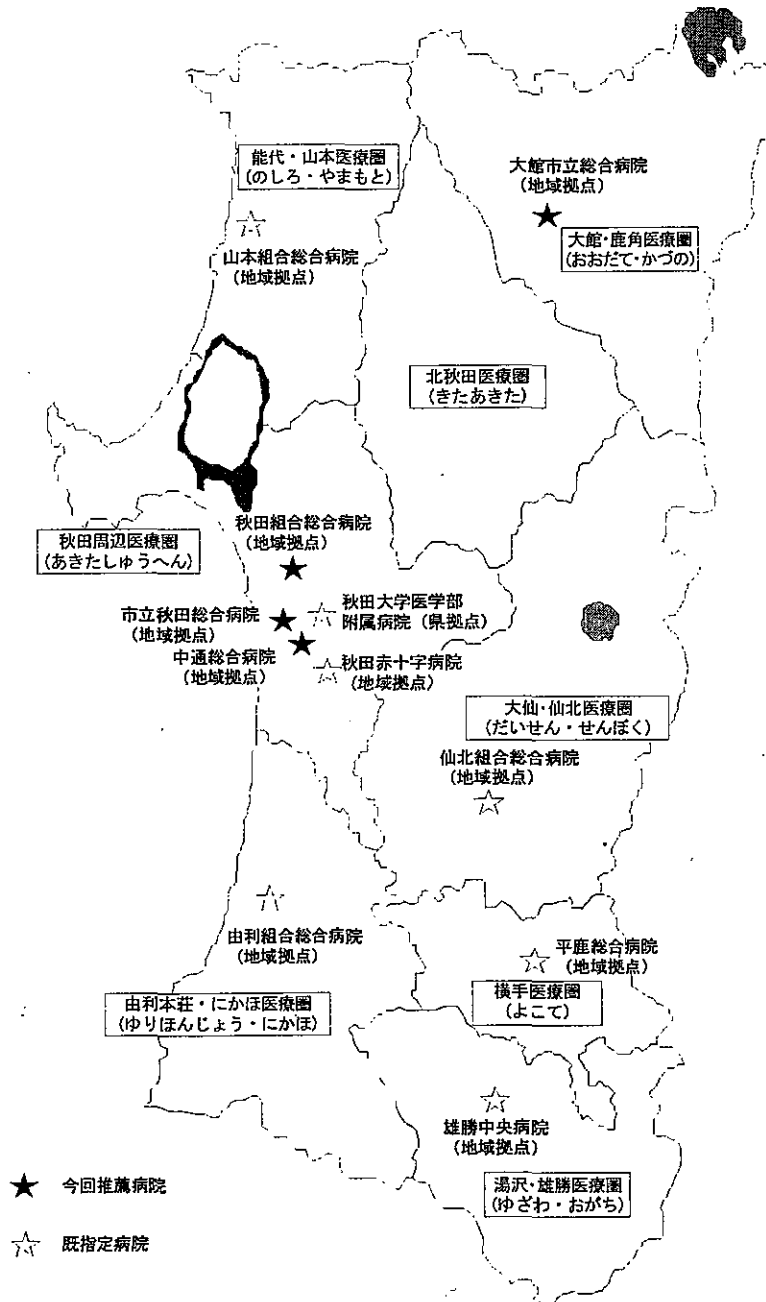
電話 018(860)1401

FAX 018(860)3883

E-mail kaoru-s@pref.akita.lg.jp

秋田県 2次医療圏の概要

1 圏域図



2 医療圏の概要

医療圏名	面積(km ²)	人口	人口割合(%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院		
						既指定	今回推薦	計
大館・鹿角	1,800.57	124,544	11.0	69.2	11	0	1	1
北秋田	1,409.39	42,464	3.7	30.1	4	0	0	0
能代・山本	1,190.88	95,399	8.4	80.1	8	1	0	1
秋田周辺	1,693.69	429,796	37.9	253.8	30	(1)	2	3 (1)
由利本荘・にかほ	1,449.65	117,293	10.3	80.9	8	1	0	1
大仙・仙北	2,128.12	146,478	12.9	68.8	8	1	0	1
横手	693.59	102,548	9.0	147.9	4	1	0	1
湯沢・雄勝	1,225.04	75,511	6.7	61.6	5	1	0	1
計	11,590.93	1,134,033	100.0	97.8	78	(1)	7	4 (1)

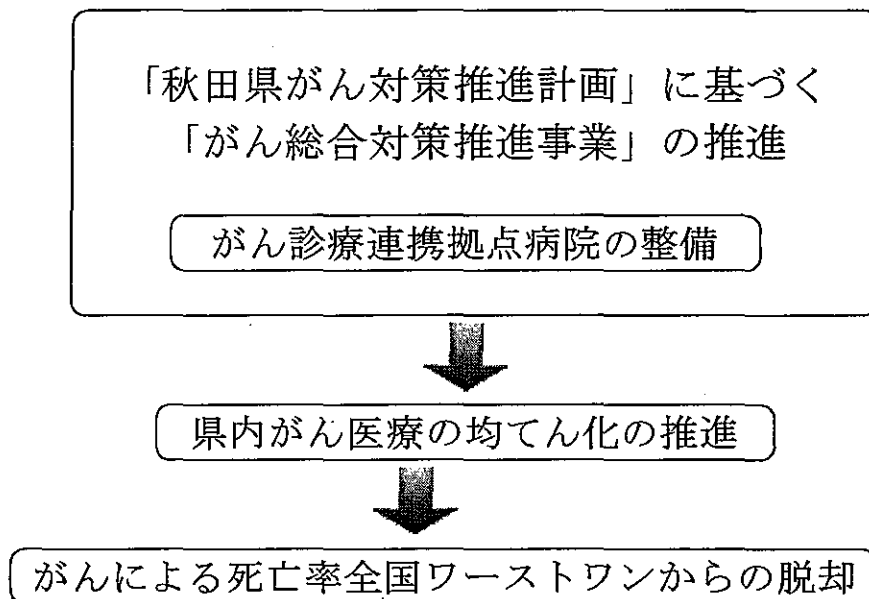
() 内は都道府県がん診療連携拠点病院で内数。人口は平成17年国勢調査による。

推 薦 意 見 書

秋 田 県

1 秋田県のがん対策におけるがん診療連携拠点病院の役割

秋田県は、がん診療連携拠点病院を、「秋田県がん対策推進計画」に基づき、がん対策を総合的、計画的に進めていくための中心的役割として位置付け、各種施策・事業に積極的に取り組んでいきます。



(1) がんによる死亡の状況

- ・ 秋田県のがんによる死亡率は、352.5（平成19年人口10万人対の粗死亡率）となっており、平成9年以来11年連続して全国で最も高い数値となっています。また、部位別では、胃、食道、胆のう、膵臓のがんで全国で最も高くなっているほか、大腸、乳房、肺など、ほとんどのがんにおいて全国平均を上回っている状況にあります。

また、75歳年齢調整死亡率に関しても97.2（平成18年人口10万人対）と4番目に高い数値となっています。

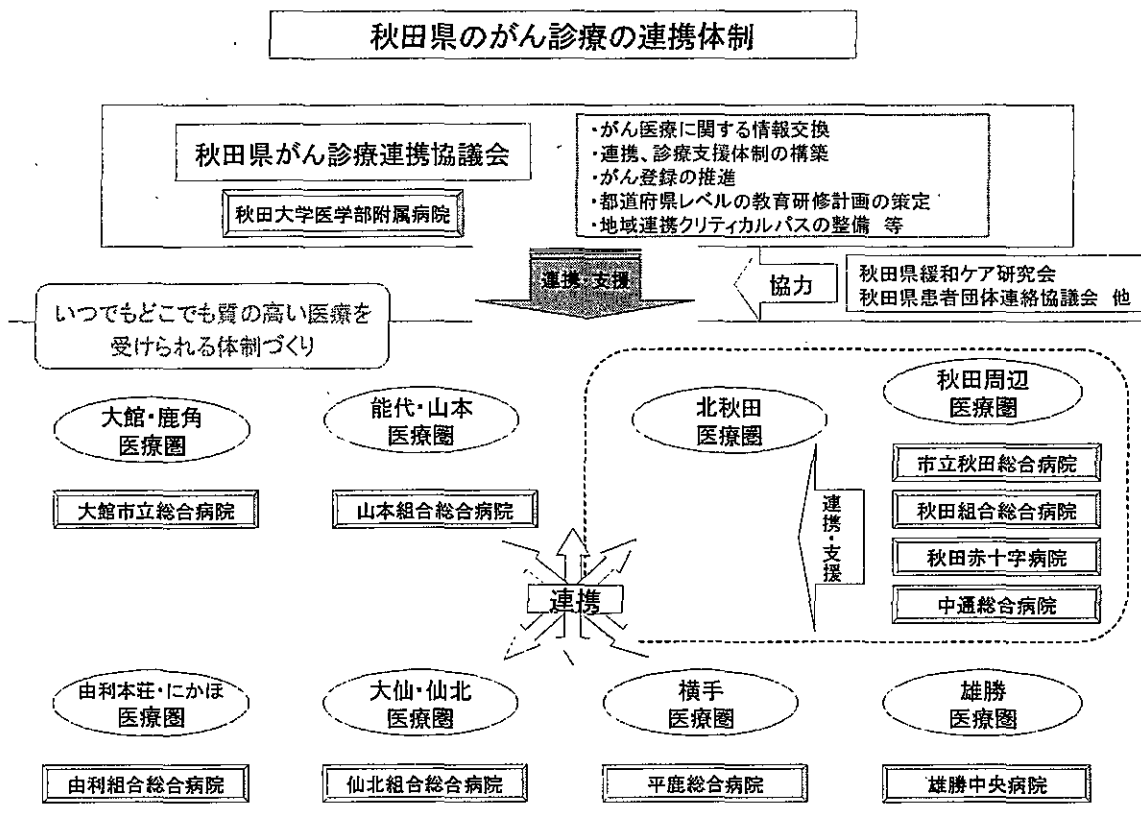
(2) がん診療連携拠点病院の整備にかかる方針

- ・ このような状況をできるだけ早く改善し、県内どこでも安心して質の高いがん医療が受けられる診療体制の構築が不可欠であり、県としてがん診療連携拠点病院を中心とした地域の医療機関との連携によるがん医療の均てん化を実現できる体制の整備を推進しています。
- ・ 秋田県では、これまで都道府県がん診療連携拠点病院が1病院、地域がん診療連携拠点病院が6病院の計7病院の指定を受けているところですが、面積（11,612km²、東京都の5倍強）が広いことに加え、中山間地を多くかかえており、交通の利便性などの地

域特性から、8つの二次医療圏すべてに地域がん診療連携拠点病院の指定を受けた病院を整備することを目標としています。

- また、中山間地の規模の小さい病院では、医師の確保が大きな課題となっており、病床数の減少、病棟の休止や病院の統廃合も進められています。こうした状況の中で、各二次医療圏において中核となる病院をしっかりと位置づけ、圏域内の各医療機関との連携により地域医療の充実を図ることが、極めて重要であると考えています。
- さらに、秋田周辺医療圏については、秋田県人口111万人（平成17年国勢調査）のうち、38%、約42万人が集中しており、県内におけるがんの手術件数の約5割が行われています。これまで秋田周辺医療圏において今回推薦する複数の病院が中心となつてがん医療を担い、かつ県内医療を牽引してきた現状を踏まえ、それぞれの特徴を活かし連携を強化することにより、秋田周辺医療圏はもとより、これに隣接する医療圏を含む県内全体のがん診療の均てん化を推進することが可能となります。
- こういったことから、秋田県では、がん診療連携拠点病院以外の各圏域の主要な病院に対して、県独自の補助制度により、がん診療体制の整備を促進するなど、早期に目標を達成するための取組みを進めてきました。

⇒ ※ 秋田周辺医療圏に係る整備方針については、「3 秋田周辺医療圏において複数病院が指定されることの効果」に記載しています。



(3) 今回の推薦決定にかかる過程

- ・ これらを踏まえた県内のがん診療連携拠点病院の整備方針や連携のあり方等については、昨年度の「秋田県医療保健福祉計画」及び「秋田県がん対策推進計画」の策定過程において、県民や関係者の意見を聴いた上で、同計画に位置付けています。

※参考：次頁の「秋田県がん対策推進計画」(抄)

- ・ 今回の推薦につきましては、各二次医療圏の中核的病院におけるこれまでの体制整備状況をふまえ、上記計画との整合性を図りながら、医師会等の関係団体や関係医療機関等と十分調整した上で決定しています。

◇ 以上の(2)の整備にかかる方針及び(3)の決定までの過程に基づき、今回、「大館・鹿角医療圏」の「大館市立総合病院」、及び「秋田周辺医療圏」の「市立秋田総合病院」、「秋田組合総合病院」、「中通総合病院」の3病院の計4病院を推薦しました。

しかしながら、万一このような考え方を認めいただけない場合におきましても、がん診療連携拠点病院が指定されてない空白医療圏をできるだけ早く解消し、県内全域で質の高いがん医療を提供できる体制を確立する必要があります。

現在、空白医療圏である「大館・鹿角医療圏」においては「大館市立総合病院」を推薦しております。また、同様に空白医療圏である「北秋田医療圏」においては、隣接する「秋田周辺医療圏」の「秋田組合総合病院」が、通院圏域であり、同医療圏の医療機関との緊密な連携関係を築いておりますので、こうした実情についてご配慮いただきたいと考えます。

<決定まで経緯>

- ◇ がん対策推進計画検討委員会における検討
- ◇ がん医療懇話会における県民との意見交換
- ◇ パブリックコメントの実施
- ◇ 秋田県医療審議会における審議
- ◇ 秋田県医師会との協議
- ◇ 秋田県がん診療連携協議会における協議
- ◇ 「秋田県がん対策推進計画」及び「秋田県医療医療保健計画」における位置付け



秋田県民の総意・切なる願い